

# JFM

Japan Finance Organization  
for Municipalities

職員派遣のご案内

2023



地方公共団体金融機構  
Japan Finance Organization for Municipalities

# 地方公共団体金融機構（JFM）のご案内

## 理事長挨拶

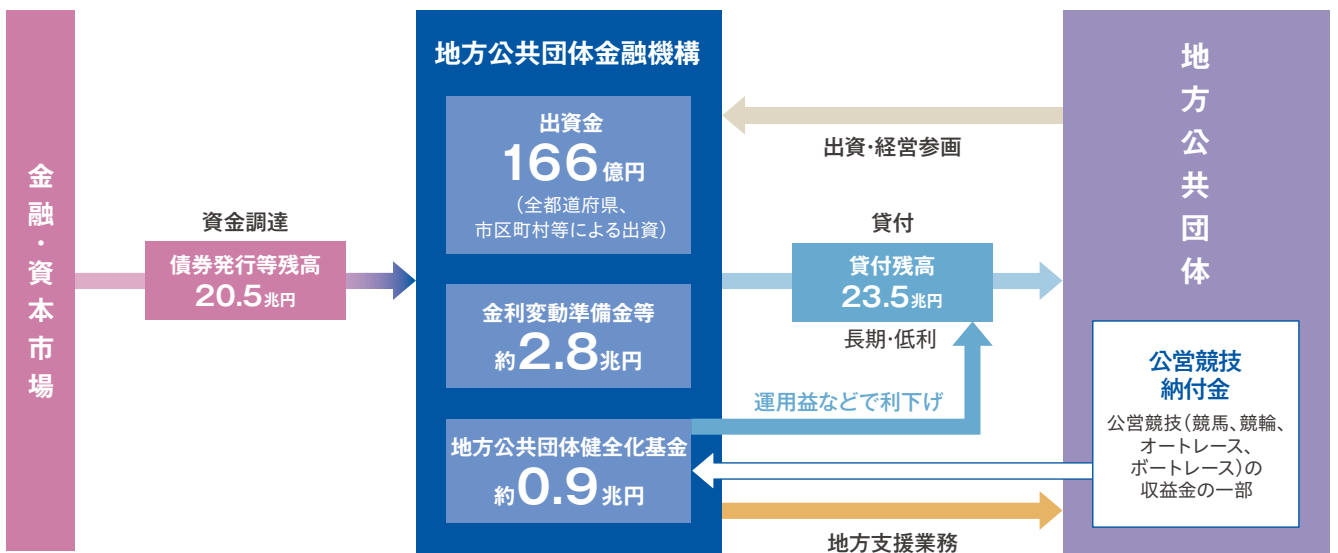


地方公共団体金融機構では、全国の地方公共団体から派遣された多くの職員が活躍しています。こうした活躍を支えるため、金融や行財政に関する専門的な知識を学ぶ研修や教育の機会を豊富に提供しております。また、派遣期間中は、当機構において单身用・家族用宿舎を準備しており、安心して生活していただけます。

さらに、当機構には、全国からの派遣の方々に加え、総務省からの出向、民間の金融機関のスペシャリストと、多彩な顔ぶれが集い、一生の財産となる「人」のネットワークを築くことができます。

このように、当機構への職員派遣は、地方公共団体の職員の皆様にとって貴重な経験を積み成長する良い機会となるものと考えておりますので、人材育成の一環として、当機構を御活用くださると幸いです。

## JFMの基本的な仕組み



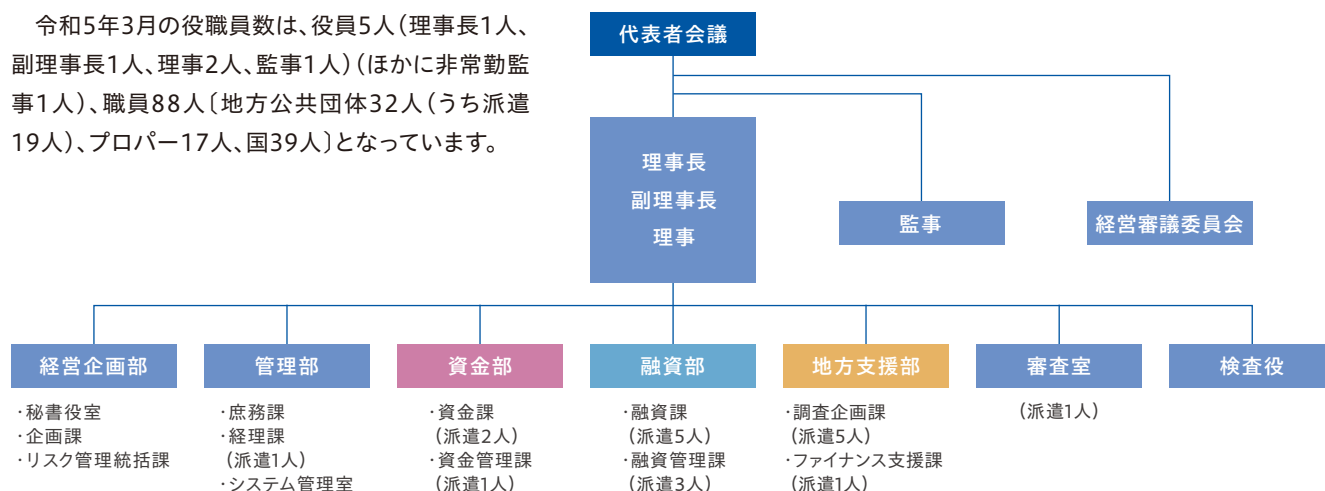
## ■ 地方公共団体金融機構(JFM)とは

### 全ての地方公共団体の出資による地方債資金共同調達機関

地方公共団体に対して長期かつ低利の資金を融通し、地方公共団体の財政の健全な運営等に寄与します。  
また、地方公共団体が資本市場からの資金調達を効率的に行っていくために必要な支援を実施します。

## ■ 組織図

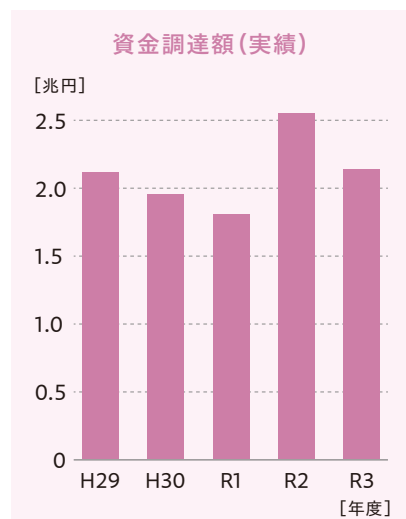
令和5年3月の役員職員数は、役員5人(理事長1人、副理事長1人、理事2人、監事1人)(ほかに非常勤監事1人)、職員88人(地方公共団体32人(うち派遣19人)、プロパー17人、国39人)となっています。



## ■ JFMの主な業務

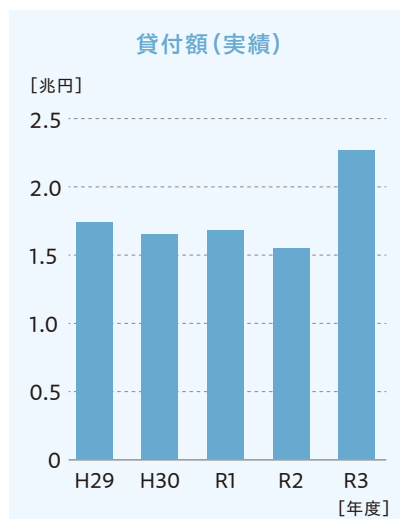
### 資金調達業務

地方公共団体の資金調達機関として、地方公共団体に対し長期かつ低利の資金を調達するため、その原資となる資金について調達コストの低廉化を図りながら、安定的に調達を行います。



### 貸付業務

地方公共団体による資本市場からの資金調達が効率的かつ効果的に補完するため、地方公共団体に対しその地方債について長期かつ低利の資金を融通し、これによって地方公共団体の財政の健全な運営及び住民の福祉の増進に寄与します。



### 地方支援業務

地方公共団体が抱えるさまざまな財政課題について、質の高い調査研究を実施し、そこで得られた知見や先進事例等の成果を人材育成・実務支援、情報発信に活用することで地方公共団体の課題解決につなげるなど、「調査研究」、「人材育成・実務支援」及び「情報発信」の三本柱を有機的に連携させ、地方公共団体の財政の健全性の確保・向上に向けた総合的な地方支援業務を実施しています。



## 福岡県 筑後市 西田 正治 市長

### PICK UP! CHIKUGO CITY

#### HAWKSベースボールパーク筑後

2016年3月にオープンした福岡ソフトバンクホークスの2・3・4軍の本拠地で、2つの球場と屋内練習場、選手寮等を備えています。



市の未来を担う職員へと成長してほしい

機構での業務経験を活かして



#### 子ども・子育て支援の拡充により 子育て世帯が増加

筑後市は筑後平野のほぼ中央に位置する田園都市で、古くから交通の要所として栄えてきました。特に九州新幹線・筑後船小屋駅は、約200ヘクタールの広大な筑後広域公園に囲まれた「公園の中の駅」であり、駅の近隣には九州で絶大な人気を誇る福岡ソフトバンクホークスのファーム本拠地「HAWKSベースボールパーク筑後」が存在します。また、温暖な気候と肥沃な土地、恵まれた水を利用して、古くから米・麦・イグサ・ナシ・ブドウ・八女茶をはじめとする農業も盛んに行われてきました。

近年では市を挙げて子ども・子育て支援事業に力を注いでおり、交通や暮らしの利便性と相まって子育て世帯の転入が増えています。多くの自治体で人口が減少するなか、筑後市は人口や世帯数が微増または横ばいで推移しています。

#### さまざまな業務を経験することが 職員の成長へとつながる

今日の地方公共団体においては、限られた財源と資源を最大限に活用しながら政策を推し進める必要があります。その原動力となるのが、職員一人ひとりの存在だと考えています。特に市の未来を担う若手職員の育成は重要です。彼らにさまざまな経験を

積ませることで、職員の適性を見極め、能力向上を図る必要があります。私自身も筑後市役所の職員時代に、さまざまな困難な業務に必死に取り組む中で、一步一步成長してきたと実感しています。

こうした経験もあり、筑後市では基本的には採用から10年間で3カ所以上の職場を経験させるよう人事異動を行っています。しかし、市役所の業務経験では限界があるのも事実です。ここではできないような経験を通して、課題を発見する力、課題を解決するための能力、さらには前例にとらわれず、創意工夫できる力を養ってほしいという思いから、機構への職員派遣を決めました。

機構は各種研修制度が充実しており、職員自身のスキルアップが図れるほか、全国の地方公共団体が抱える課題やその解決方法にも触れられる場所ではないかと考えています。また、他団体の派遣職員のほか、総務省からの出向者や民間企業出身者なども多く在籍し、そうした方々と切磋琢磨し合える環境も魅力です。

実際に機構の派遣を終えて帰任した職員が、私たちにはない視点から提案を行う姿も見られ、成長を垣間見ることができています。これからも機構での経験を活かして何事にも果敢にチャレンジし、周りの職員にもポジティブな影響を与える存在として活躍してくれることを願っています。

## 福島県 田村市

白石 高司 市長

### PICK UP! TAMURA CITY

#### いそ さき 磯前神社

社殿が岩山に埋め込まれたような「懸造り」という珍しい建築様式で、崖に寄り添うように建てられています。



一歩先を行く職員への成長を期待

自らの判断で市の財政を動かせる



#### 移住者の獲得に向け 市内と東京にサポート拠点を設置

あぶくま高原の中央に位置する田村市は、平成17年に5つの町村が合併し、誕生しました。主要観光施設であるあぶくま洞やムシムシランド、県立自然公園に指定される大滝根山、映画のロケ地となった小沢の桜などの自然資源が豊富なだけでなく、堂山王子神社本殿や安倍文殊堂などの歴史・文化的資源も点在する、見どころの多い市となっています。

社会問題となっている少子高齢化、地方の人口減少ですが、田村市も例に漏れず対応を迫られています。人口の流出抑制や移住・定住の促進が重要と考え、令和3年には、東京都に「東京リクルートセンター」、市内に「田村サポートセンター」を開設しました。両センターでは、オンラインを含むイベントの開催、市内に約60%の森林を有している田村市ならではの、1泊2日で林業を体験できるツアーの実施や、SNSやメールマガジンなどを使った情報発信を通して、首都圏における移住検討者の掘り起こしを行っています。

今後も田村市の情報発信を続けながら、市内農家の新たな販路の開拓や、農産物のブランドイメージの向上、移住後に起業を検討している方を対象とした講習会などの支援を行う予定です。併せて移住検討・希望者の不安を軽減するためのバックアップ

と、移住者を受け入れる田村市民をサポートする事業も展開し、人口減少・少子高齢化を解決するための事業を構築していきたいと考えています。

#### 優秀な人材と関わり 多様な経験を積める場所

私は市長就任前、長らく会社を経営していました。その経験をふまえ田村市職員の働きぶりをみると、業務を忠実に遂行することには長けている一方、より効率的で効果的な業務にするための工夫が足りないと感じることもあります。これは決して職員の能力不足ではなく、市役所では多様な経験を積み機会が足りないのでしょう。職員の潜在的な能力を引き出すことも私の大切な役割です。

田村市ではできない経験を積んでほしいとの思いから、現在機構に1名の職員を派遣しています。機構には全国の派遣職員に加え、総務省からの出向者や、民間の金融機関出身のスペシャリストも多いため、ここで得られる人脈は仕事の枠を超えた生涯の財産となるでしょう。派遣中の職員と面談した際、機構での担当業務についていきいきと話す姿に成長と頼もしさを感じました。帰任後は市の財政事情を的確に把握しながら、自らの判断で資金を運用・調達する能力を身につけた職員として、一層の活躍を期待しています。

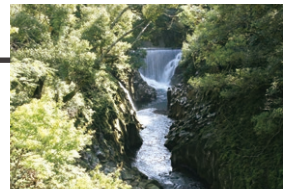
## 宮崎県 三股町

木佐貫 辰生 町長

### PICK UP! MIMATA TOWN

#### 長田峡公園

約3万年前の大噴火による堆積物で形成された峡谷。空気の澄んだ美しい渓谷はリフレッシュに最適です。



まちづくりに向けた未来への投資

機構への職員派遣は



#### 人口増加などの課題に対応すべく 更なる利便性の向上を目指す

三股町は、都都市に隣接する緑と水の豊かな田園都市です。教育や医療、福祉などの環境が整っており、都市部や高速道路へのアクセスも良いことから、半世紀に渡って人口が増え続けています。昨今地方では住民の高齢化や若者の流出が叫ばれていますが、三股町は15歳以下の人口率が宮崎県内で1位となっています。「子育てしやすいまち」と認知されており、若者の多い活気ある町として成長を続けています。

一方、高齢者の増加、免許返納推奨の流れから、交通・生活利便性の更なる強化が急務です。現在はコミュニティバスを運行させていますが、生活便の本数が少ないことに加え、運行経路の空白地があることから、交通網再編計画を策定しました。中心市街地内の巡回路線の拡充、中心市街地と各集落を繋ぐ路線の見直しで、町民の快適な移動手段の確保に努めます。また、町の中心にある2.2haの団地跡には、生涯学習と子育て支援、健康増進、買い物と食の機能を持つ複合施設の整備を進めています。幅広い世代が集まる活気のある拠点施設とするべく、民間企業とも連携しながら、令和7年度のオープンを目指しています。

本町も、令和3年をピークに人口減少傾向にあることから、これまでの子育て支援をさらに前進させ、

人口増に繋げるため、中学生の給食費の無償化に取り組みます。保護者の教育費の負担軽減に努めるとともに、若者の移住・定住先の候補地として選択肢を提供し、地域経済の活性化を期待しています。

#### 金融に明るく幅広い視点を持った 職員に成長することを期待

「まちづくりは人づくり」と言われますが、やはり町の活性化には、地方公共団体職員の育成・資質向上が最優先です。他市町村からの移住者・定住者が多いため住民のニーズ・価値観も多様化しています。広い視野を身につけ、何事にも臨機応変に対応できる人材の育成は欠かせません。

現在三股町からは機構へ1名職員を派遣していますが、これは未来への投資と考えています。派遣職員には、三股町のこれからのあり方、まちづくりの視点を念頭に置いて、業務の中では全国のまちづくりの情報を蓄積し、プライベートでは大都会の有様を体験してきてほしいです。

帰任後は、機構で学んだことを活かして活躍してほしいと思っています。特に現在進めている中心市街地の再開発事業では、機構での事例を参考にしながら、魅力的な施設づくりと収支バランスの管理のできる人材としての活躍が期待されます。ほかの職員にも刺激をもたらしてくれるような、多方面での成長を楽しみにしています。

# 金融の専門知識と 地方行政の課題を知ること 幅広い視野が培われます

## 派遣職員的主要業務

### 貸付業務

融資部では、貸付計画の策定、貸付利率の算定、一般会計債及び公営企業債の貸付け等を行っています。また、その貸付けに対する元利償還金の回収及び債権管理を併せて行っています。

その一つである貸付業務は、地方公共団体による資本市場からの資金調達を効果的に補完する役割として、長期かつ低利の資金を融通しており、令和3年度は、1,727団体、総額2兆2,513億円の貸付けを行いました。

その中で、派遣職員は、地方公共団体からの借入申込みに基づいて、地方債の同意又は許可の有無、借入れに必要な議会の議決や予算措置等の状況について適正かどうかを審査しています。さらに、貸付後は各団体に赴き、貸付金の使途状況を調査する等、債権管理を行っています。



### 資金調達業務

JFMは、地方公共団体に対する貸付原資を主に「地方公共団体金融機構債券（以下「JFM債」という。）」の発行により資本市場から調達しています。

資金部は、債券発行・元利払い事務及び資金運用・管理事務を取り扱っており、その中で派遣職員は、JFM債発行に係る実務を担っています。JFM債発行に係る実務には、証券会社との事務的調整、投資家動向の分析、IR（投資家向け広報）の実施及び資金運用計画の策定等があり、長期かつ低利な資金を融資するため、安定的な資金調達を行うとともに調達手段の多様化に日々取り組んでいます。



### 地方支援業務

地方支援部では、地方公共団体のニーズに合わせて、財政の健全性の確保や資金調達をはじめ地方公共団体の財政運営全般にわたって必要な支援を実施する「地方支援業務」を展開しています。

派遣職員は、主に、個別の市区町村等にアドバイザーを派遣する事業や地方財政等に関するセミナー・研修の企画、実施等に係る業務とともに、財政運営において参考となる財政分析チャート、先進事例、経済・金融指標データ等を発信する業務に携わります。

資金調達に関する出前講座や実務支援の実施にあたっては、金融の専門知識を有する自治体ファイナンス・アドバイザーと協力して、日々取り組んでいます。



## 概要

- ▶ 公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律とその関係条例に基づく職員の派遣です。
- ▶ 派遣期間は、おおむね2年です。
- ▶ 派遣職員の給与については、派遣元団体で支給されている給与を踏まえて格付けの上、機構において支給します。
- ▶ 派遣職員の住居については、機構において職員宿舎を準備します（東急田園都市線「二子玉川駅」、「たまプラーザ駅」付近）。
- ▶ 派遣期間における長期給付、短期給付及び介護保険に係る事業主負担分については、機構において負担します。

# FROM OKAYAMA, OKAYAMA CITY

岡山県 岡山市から派遣

貸付業務

全国の地方公共団体の課題に触れ、

身についた新たな視点

融資部 融資課

二熊 航平

## One Day Schedule

09:00 出社

メールチェック

10:00 融資審査

借入申込書の審査、  
地方公共団体からの問い合わせ対応



13:00 研修

地方財政や金融に関する  
研修に参加

16:00 貸付利率算定

資金部から提供された  
資料をもとに貸付利率を算定



17:45 終業・退社



融資部融資課で、地方公共団体からいただいた申請の貸付審査を行っています。地方公共団体が新しく施設を建設・改修する際などに利用されるのがJFMの貸付制度です。各地方公共団体からいただく、さまざまな貸付申請の要項や条件を細かくチェックし、審査を行っています。地方公共団体にとってとても大切な審査なので、少しのミスも許されません。年度始めや年度末には申請数が多くなりますが、ひとつひとつの審査を丁寧にを行うように心がけています。

JFMの職員には、それぞれ地方財務状況調査という業務が割り当てられています。年に一度地方公共団体を訪れ、貸し付けた資金が正しく使われているかを調査したり、困りごとをお聞きしたりする業務で、私は埼玉県、栃木県、大阪府に伺いました。その際、今までプールがなかった小学校のお話を伺ったのですが、子どもたちはプールの授業の度に市民プールに移動しなければならなかったそうです。JFMの貸付を活用して造られたプールを見て、普段自分が行っている貸付審査が人々の役に立っていることを実感できました。それぞれの事情を抱える地方公共団体の方のお話を伺う中で、派遣元にいるときには得られなかった情報を得ることができ、視野が広がったと感じます。

JFMは派遣職員向けの研修制度が充実しており、地方財政の知識が深まったと感じました。今後もeラーニングなどを活用して、派遣元に戻った時にも役立つ知識を磨いていきたいと思っています。地方公共団体向けの支援業務も充実しているので、派遣元にも利用を勧めたいです。



# FROM FUKUOKA PREFECTURE

福岡県から派遣

資金調達業務  
(資金管理業務)

## 派遣元でも役立つ

## 金融の専門知識が身につく環境

資金部 資金管理課

平安 貴一

### One Day Schedule

09:00 出社

メールチェック

10:00 定例業務

翌日の資金移動に関する業務



11:00 資料作成

資金運用や債券元金支払いに関する資料作成

15:30 打ち合わせ

金融機関から資金需要について聞き取り



17:45 終業・退社



派遣元の福岡県庁では、生活保護を受けている県民の方々の対応や、産業廃棄物運搬に必要な免許の発行業務などを担当していました。どれもやりがいのある業務でしたが、県外に出て、新しい視点を身につけたいという思いが大きくなり、県外での勤務を希望したところ、JFMへの派遣を打診されました。JFMがどのような組織なのかこれまで知りませんでした。調べていく中で、JFMの業務は地方公共団体運営の根幹に関わるとても重要な仕事だと感じ、派遣を決めました。

現在私が担当している主な業務は、市場から調達した資金を地方公共団体に貸し付けるまでの間、利率の良い金融機関に預けるなどして運用する余裕資金の運用業務と、JFMが発行している債券の元金金の支払い業務です。どちらの業務も、扱う金額の大きさに驚かされました。また、業務の中で銀行などの金融機関とやり取りをする機会が多いことも印象的でした。初めは専門用語がわからずに苦労しましたが、同じ課に所属する金融機関出身の上司や先輩方、同じ派遣職員の同僚の支えもあり、専門用語への理解も深まりましたし、金融市場の知識なども身についたと感じます。

JFMは派遣職員の多い職場なので、質問がしやすい環境が整っていると感じました。また、同時期に派遣されてきた職員が、どんどん仕事を覚えて活躍していく様子には、刺激を受けています。派遣元に戻った後は、今までJFMで培った知識を活かして、幅広い業務で派遣元の財政運営に貢献していきたいと考えています。

# FROM AICHI, OBU CITY

愛知県 大府市から派遣

地方支援業務

## 地方財政の未来を拓く

## 新規事業の立ち上げに携わる

地方支援部 調査企画課

久野 友里絵

### One Day Schedule

09:00 出社

メールチェック

10:00 打ち合わせ

調査研究事業についての  
打ち合わせ



13:00 フォーラム

GRIPS\*との連携プロジェクトの  
フォーラムの開催準備・運営

\*国立大学法人政策研究大学院大学



16:00 資料作成

財政状況ヒアリングの結果を  
取りまとめ

17:45 終業・退社



私が調査企画課で担当しているのは、JFMが実施しているさまざまな地方支援業務の土台となる、調査研究事業です。大学の先生など、専門家の方にお会いしてお話を伺ったり、必要な調査をお願いしたり、地方財政をより良くしていくための業務を事務的な面からサポートしています。専門的な財政のお話を伺うことが多く、幅広い知見を持った方から新しい視点でのご意見をいただくなど、貴重な経験をさせていただいています。

また、現在注力しているのが、来年度から実施される、若手研究者の育成事業の立ち上げ業務です。地方財政に関する研究を対象に研究費を助成するという内容ですが、この事業の制度設計を担当しています。地方財政の専門家の方に、どのような制度だと利用しやすいか聞き取りを行い、その内容を制度に落とし込んでいきます。地方財政の将来を見据えた事業で、これからの日本にとってとても大切な事業だと感じながら職務にあたっています。派遣元では新規事業の立ち上げ業務に関わることはなかったのですが、得難い経験を積ませていただいていますし、JFMで培った事業立ち上げの手順や進め方などの部分は、派遣元に戻ってからも活かせるスキルだと感じています。

JFMには、さまざまな専門性を持った職員や、全国から派遣された職員がいます。他の地方公共団体の話を聞くことができず新鮮でしたし、派遣元のことを客観的に考えることができるようになったと感じます。JFMで得た人とのつながりや経験を派遣元でも活かせるよう、残りの期間も充実させていきたいです。

## さまざまな団体から派遣された職員と切磋琢磨できる環境が魅力です

機構では地方支援部に在籍し、主に地方公共団体の職員を対象とした行財政や公営企業に関するセミナーの企画・運営、先進事例検索システムの運用等を担当しました。着任直後に緊急事態宣言が発出され、戸惑った部分もありましたが、テレワークやWEB会議がすぐに定着し、充実した派遣生活を送ることができました。特に、コロナ禍における事業をどのように展開していくか、上司の助言を得ながら新たな取組も加え事業を進めていけたことは良い経験になったと思います。

機構には総務省や都道府県、金融機関等の異なる団体から派遣されている職員が多く在籍しており、切磋琢磨できる環境が魅力だと思います。また、職場環境や宿舎も充実していて、心配していた都会での暮らしも快適に過ごすことができました。出向を考えている皆様、ぜひチャレンジしてみたいはいかがでしょうか？

SINCE 2020-2022 / FROM **CHIKUGO CITY**

2020年～2022年 筑後市から派遣  
地方支援部 調査企画課にて勤務



福岡県 筑後市 総務部 財政課  
川口 崇

### Message from 現在の上司

川口君の魅力は積極性だと感じています。機構への派遣も、自ら希望してのことだったと記憶しています。現在は「ふるさと納税」業務を担当していますが、筑後市の魅力を返礼品という形で表すには、前例にとらわれない創意工夫がとても大事になります。この点では存分に能力を発揮していますし、派遣の経験から、私たちとは異なる視点からの提案をしてくれることも非常に助かっています。今後の飛躍に期待しています。

財政課長 塚本 剛



## 金融市場と日々向き合った経験が帰任後の業務に役立ちました。

機構への出向期間は資金課で国内債の発行業務を担当していました。初めての分野に戸惑いましたが、経験豊富な上司の皆様を支えていただき、また全国各地から集った仲間とも励ましあいながら、貴重な時間を過ごすことができました。資金課での業務の一番の魅力は、目まぐるしく動く金融市場のスピード感を間近で感じられたことです。

帰任後は会計管理室にて資金管理・運用を担当しましたが、IR活動の中で全国の地方公共団体ほか幅広い投資家の方々の資金運用を学び、また日々金融市場と向き合う債券発行の現場に携わった経験は、業務の上で大きなアドバンテージとなりました。現在は、収税課で滞納整理業務に携わっており、出向時の経験を直接活かす機会は限られますが、機構において金融の専門家など多様な経歴を持った方々と仕事をさせていただいたことは一生の財産であり、それらを糧に業務に邁進したいと思います。

SINCE 2017-2019 / FROM **TSU CITY**

2017年～2019年 津市から派遣  
資金部 資金課にて勤務



三重県 津市 政策財務部 収税課  
浅野 哲

### Message from 現在の上司

帰任後は本市の資金管理・運用部門で業務を行いながら、研修で得た知識を他職員にフィードバックしてもらいました。現在は直接的な資金運用業務から離れ、市税の滞納整理業務に従事してもらっていますが、市の歳入を確保するといった点においては当該業務もまた資金運用の一種であると考えています。今後も機構での経験やネットワークを活用し、市行政の先頭に立って活躍してもらいたいことを期待しています。

収税課長 真柄 利光



# 成長をサポートする制度と働きやすい環境

## 充実した研修制度

JFMでは、派遣された職員が地方財政や金融等に関する知識・経験を有する職員として成長し、地方公共団体の経営に一層役立つ有益な人材となるように充実した研修制度をご用意しております。JFMで勤務した経験が将来にわたる財産となり、地方の人材育成に貢献できるよう努めています。

研修制度一例

### 地方財政と金融に関する職員研修

地方財政制度研修／金融基礎研修／自治体の財政分析 等

年間10回

### 資格取得やスキルアップのための経費支援

簿記2級以上／英検2級以上／TOEIC対策講座／銀行業務／証券アナリスト 等

### 宿泊型研修

資金調達等に係る金融知識の習得を目指す短期集中研修

在年中1回

各種研修の概要・テキスト等は、JFMのホームページからご覧いただけます。

<https://www.jfm.go.jp/support/development/training/index.html>



## 職員住宅を完備

東急田園都市線二子玉川駅、たまプラーザ駅付近に住宅(単身用・世帯用)を完備しています。

二子玉川住宅



東急田園都市線「二子玉川駅」から徒歩12分

青葉住宅



東急田園都市線「たまプラーザ駅」から徒歩6分



公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所 提供



### 交通案内

- 都営地下鉄三田線「内幸町」下車(A7)徒歩2分
- 東京メトロ丸ノ内線「霞ヶ関」下車(B2)徒歩4分
- 東京メトロ千代田線「霞ヶ関」下車(C3)徒歩3分
- 東京メトロ千代田線「日比谷」下車(A14)徒歩3分
- JR線「新橋」下車徒歩8分、または「有楽町」下車徒歩12分

金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く



地方公共団体金融機構  
Japan Finance Organization for Municipalities

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1番3号 市政会館  
地方公共団体金融機構ホームページ <https://www.jfm.go.jp/>



### お問い合わせ先

この派遣は、地方三団体(全国知事会、全国市長会、全国町村会)の斡旋により実施しておりますので、お問い合わせにつきましては、各事務局又は地方公共団体金融機構経営企画部秘書役室へお願いいたします。

地方公共団体金融機構経営企画部

秘書役室 TEL 03-3539-2629 企画課 TEL 03-3539-2674

ホームページにて、  
「職員派遣 ご案内」の動画公開中。 →  
パンフレットと併せてご覧ください。

